

「乳幼児の生活と育ち」研究プロジェクト

「乳幼児の生活と育ちに関する調査2017-2020」調査概要



I. 調査の全体設計

1. テーマと目的
2. プロジェクトメンバー
3. 基本調査のデザイン
4. 基本調査の対象者
5. 基本調査の主な項目



II. 2020調査について

1. 概要
2. 回答状況、脱落者分析
3. 分析対象者の属性
4. コロナ禍のトピック



●主な調査テーマ

乳幼児の生活と発達、子育てに対する親の意識と行動

●明らかにすること

- 1 . 乳幼児が育つプロセス
- 2 . 乳幼児の発達と親の関わり、環境の因果
- 3 . 乳幼児の親（家族）が育つプロセスと因果

⇒モニターのお子様が小学校に入学してからは、東京大学社会科学研究所とベネッセ教育総合研究所の共同研究（「子どもの生活と学び」研究プロジェクト）に引き継ぐことで、児童期以降につながる長期縦断調査とする予定

● プロジェクトメンバー

〈プロジェクト代表者〉

秋田 喜代美（東京大学教授）

谷山 和成（ベネッセ教育総合研究所所長）

〈調査企画・分析メンバー〉

遠藤 利彦（東京大学教授・Cedepセンター長）

野澤 祥子（東京大学准教授）

佐藤 香（東京大学教授）

島津 明人（慶應義塾大学教授）

小崎 恭弘（大阪教育大学准教授）

宇佐美 慧（東京大学准教授）

大久保 圭介（東京大学大学院博士課程）

唐 音啓（東京大学大学院博士課程）

ベネッセ教育総合研究所

木村 治生（同研究所 主席研究員）

高岡 純子（同研究所学び・生活研究
室長・主席研究員）

岡部悟志（同研究所 主任研究員）

真田 美恵子（同研究所 主任研究員）

李 知苑（同研究所 研究員）

3. 基本調査のデザイン

4



2017年
Time0(t0)

2018年
Time1(t1)

2019年
Time2(t2)

2020年
Time3(t3)

2021年

2022年

2023年

- 同一個人（世帯）を追跡する縦断調査
- お子様の「母親（またはそれに代わる方）」と「父親（またはそれに代わる方）」を対象に、毎年9-10月に実施。※どちらかのみのお回答も可
- 現在、0歳児期～3歳児期までの4年分のデータを取得済（これまでの結果は研究所webサイトにて）

<https://berd.benesse.jp/jisedai/research/detail1.php?id=5290>



2023年に「子どもの生活と学び」
研究プロジェクトに接続

●対象者

- ・本研究プロジェクトの「調査モニター」である、
全国の2016年度生まれの子どもをもつ保護者3,205組から開始

●調査モニターの標本抽出

- ・2017年に（株）ベネッセコーポレーションが保有するリストから「調査モニター募集対象者」をサンプリング。 ※こどもちゃれんじ会員・非会員を含む
- ・サンプリングは（A）地域ブロック別、（B）会員・非会員別の比率に応じた。
 - ※（A）厚生労働省「人口動態統計」の比率に基づく
 - ※（B）こどもちゃれんじの会員比率に基づく
- ・2017年7～8月に、「調査モニター募集対象者」の保護者に対して、郵送で「調査モニター」への協力を依頼。承諾を得た人を「調査モニター」とした（登録率19.9%）。

①子どもの気質や生活

〈出生時〉在胎週数、体重など

〈気質〉

〈睡眠〉起床、就寝時刻、午睡時間

〈保育〉就園状況（園種別、時間、園での経験）

〈メディア〉利用時間、内容、目的、使い方

〈習い事〉

〈生活習慣〉

②子どもの発達

身長、体重
粗大運動、微細運動
アタッチメント
認知的スキル
社会情動的スキル

③親のwell-being等

デイリーハッスル
子育て肯定感・否定感
子育て観・教育観
配偶者との関係
ストレス
QOL、幸福感
抑うつ

④親の養育行動や生活

【妊娠・出産期】

妊娠期の生活習慣、情報収集、夫婦関係、出産体験、出産後の状況

【子育て期】

〈生活・子育て〉
養育行動
生活時間（家事・育児・睡眠等）
子育てのサポート

〈夫婦〉家事・育児分担比率

〈職場〉職場環境、労働時間

⑤基本属性

子どもの性別、きょうだい数、出生順位、配偶者（同居・離死別）、回答者の属性（年齢、学歴、就業形態・日数・時間、帰宅時間）、世帯収入

●**方法**：郵送法（自記式質問紙調査）

●**対象**：2016 年4月2日～2017年4月1日生まれの子どもをもつ家庭
2,245世帯（調査モニター）

* 0歳児期-2歳児期までの継続回答者を対象とした。（災害によって除外した対象者を含む）

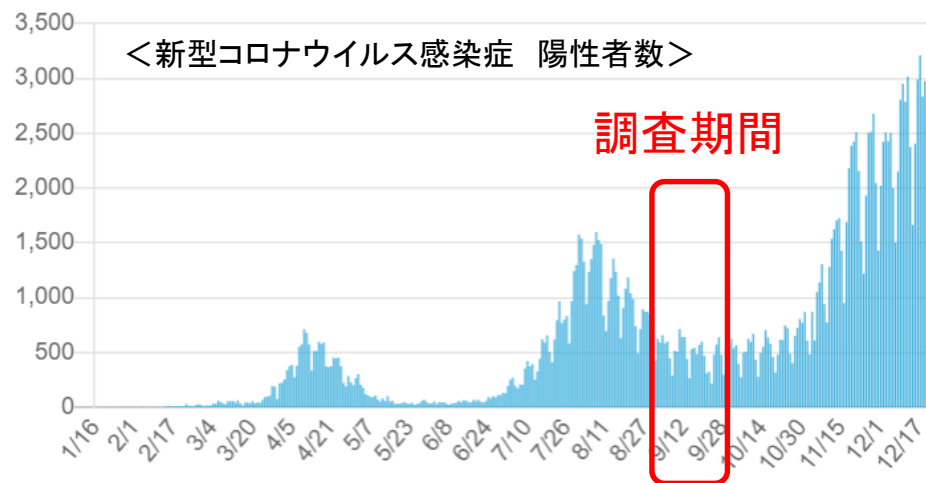
* 調査時点で、子どもの月齢は3歳6か月～4歳5か月であった。

●**時期**：2020年9月～10月

●**地域**：全国

●**倫理的な配慮**：東京大学ライフ
サイエンス委員会倫理審査
専門委員会の倫理審査の承認を
受け、実施

* 回答促進のために、ハガキ送付、メール送信



※厚生労働省

<https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/kokunainohasseijoukyou.html>

2. 回収状況、脱落者分析

8

● 発送数や回収数など

	0歳児期		1歳児期		2歳児期		3歳児期	
発送世帯数	3,205		3,021		2,673		2,245	
回収数	主	副	主	副	母	父	母	父
	3,005	2,750	2,554	2,390	2,356	2,232	2,057	1,949
回収率	93.8%	85.8%	84.5%	79.1%	88.1%	83.5%	91.6%	86.8%
分析対象数(0歳児期からの継続サンプル)	2,975	2624	2,409	2,038	2,119	1,754	1,906	1,537

※発送世帯は、前年の回答世帯＋前年に自然災害により発送できなかった世帯

※0-1歳児期は「主となる養育者/副となる養育者」、2-3歳児期は「母親（またはそれに代わる方）/父親（またはそれに代わる方）」の2種類の調査票を同封

● 継続サンプルの属性

(%)

		0歳児期の母親 (2,975) の属性(1)	3歳児期の母親 (1,906) の0歳児期時点の属性(2)	差(2)-(1)
子どもの性別	男子	50.0	50.2	0.2
	女子	50.0	49.7	-0.3
子どもの月齢	低月齢	32.0	31.3	-0.7
	中月齢	36.6	37.6	1.0
	高月齢	31.4	31.1	-0.3
母親の学歴	4大卒	45.5	48.0	2.5
	非4大卒	54.5	52.0	-2.5
父親の学歴	4大卒	55.5	59.9	4.4
	非4大卒	44.5	40.1	-4.4
人口規模	政令指定都市・特別区	34.2	34.7	0.5
	15万人以上	32.4	31.6	-0.8
	5-15万人未満	22.0	22.2	0.2
	5万人未満	11.5	11.4	-0.1

● 3歳児期の回答者の組み合わせ

(人)

		母親票			合計
		母親	無答不明	未回収 (父親票は回収)	
父親票	父親	1,808	32	2	1,842
	祖母	53	1	0	54
	祖父	8	0	0	8
	無答不明	42	3	0	45
	未回収 (母親票は回収)	107	3	0	110
合計		2,018	39	2	2,059

※「母・父」の組み合わせ以外に、「母・祖母」「母・祖父」、0歳児期では「祖母・祖父」の組み合わせも見られた。

※本分析でペアデータを用いる際は、最も多かった「母・父」について報告する。

注) 差が+1pt以上を 、-1pt以下を で示した

3. 分析対象者の属性

9

●居住地 *3歳児期

北海道・東北 4.6%、関東（東京以外） 24.8%、東京 13.6%、中部 20.7%、近畿 18.5%、中四国 7.3%、九州・沖縄 10.5%

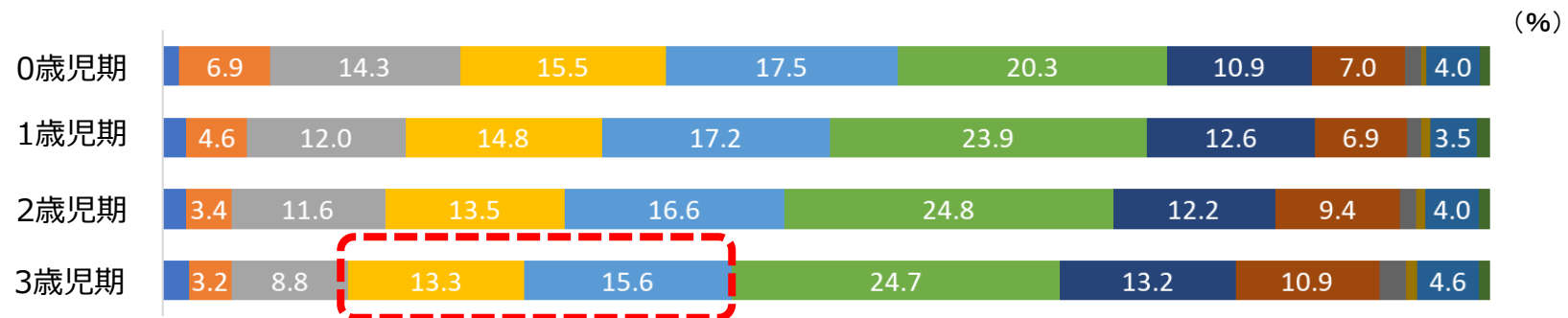
●子どもの属性 *3歳児期

- (%)
- ✓ 性別： 男子 50.2 女子 49.7 無答不明 0.1
 - ✓ 出生順位： **1番目 50.8** 2番目 35.7 3番目 11.8 4番目 1.2 5番目以降 0.4 無答不明 0.3
 - ✓ 子どもの数： 1人 22.7 **2人 54.8** 3人 19.0 4人 2.7 5人以上 0.6 無答不明 0.1

※母親の回答

●世帯年収（昨年1年間）

400万円未満 14.0% 400～600万 28.9% 600～800万 24.7% 800万以上 26.9%



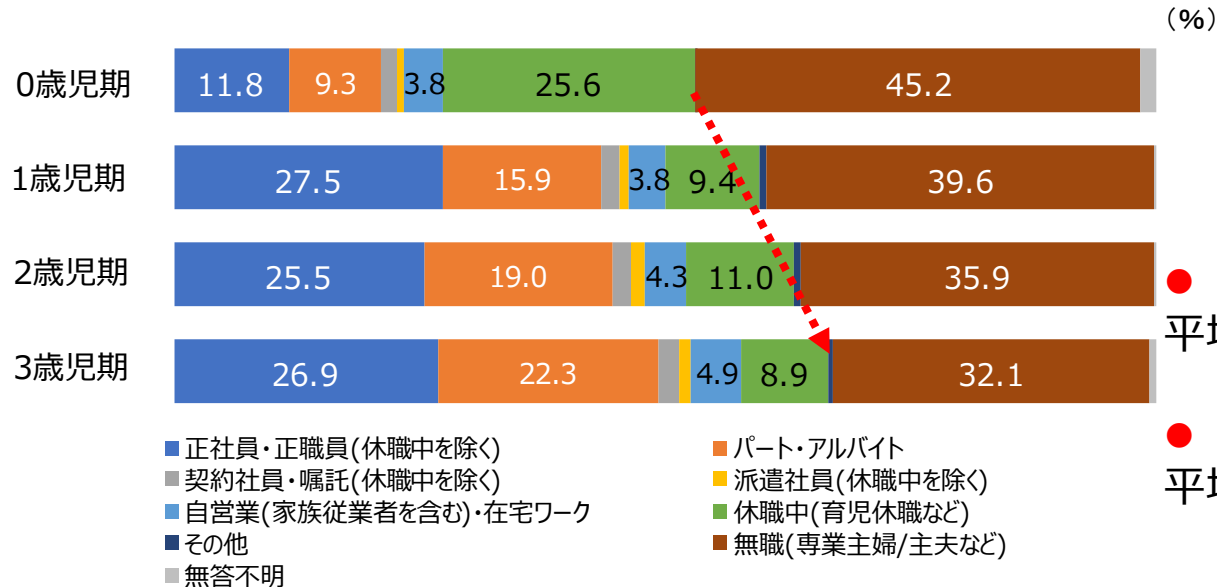
■ 200万円未満 ■ 200～300万円未満 ■ 300～400万円未満 ■ 400～500万円未満
■ 500～600万円未満 ■ 600～800万円未満 ■ 800～1000万円未満 ■ 1000～1500万円未満
■ 1500～2000万円未満 ■ 2000万円以上 ■ 答えたくない ■ 無回答・不明

※母親の回答

3. 分析対象者の属性

10

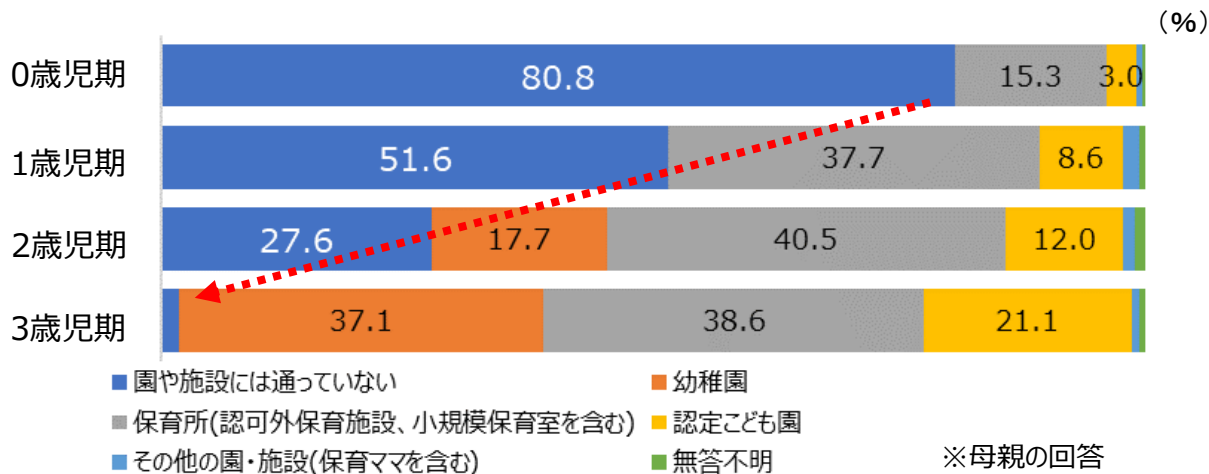
●**母親の就労率** 3歳児期：仕事あり（休職中8.9%を含む） 67.1%、専業主婦 32.1%



● **母親の年齢**
平均36.0歳 (range 23-50)

● **父親の年齢**
平均37.9歳 (range 23-61)

●**子どもの就園率** 3歳児期：幼稚園37.1%、保育所等38.6%、認定こども園21.1%

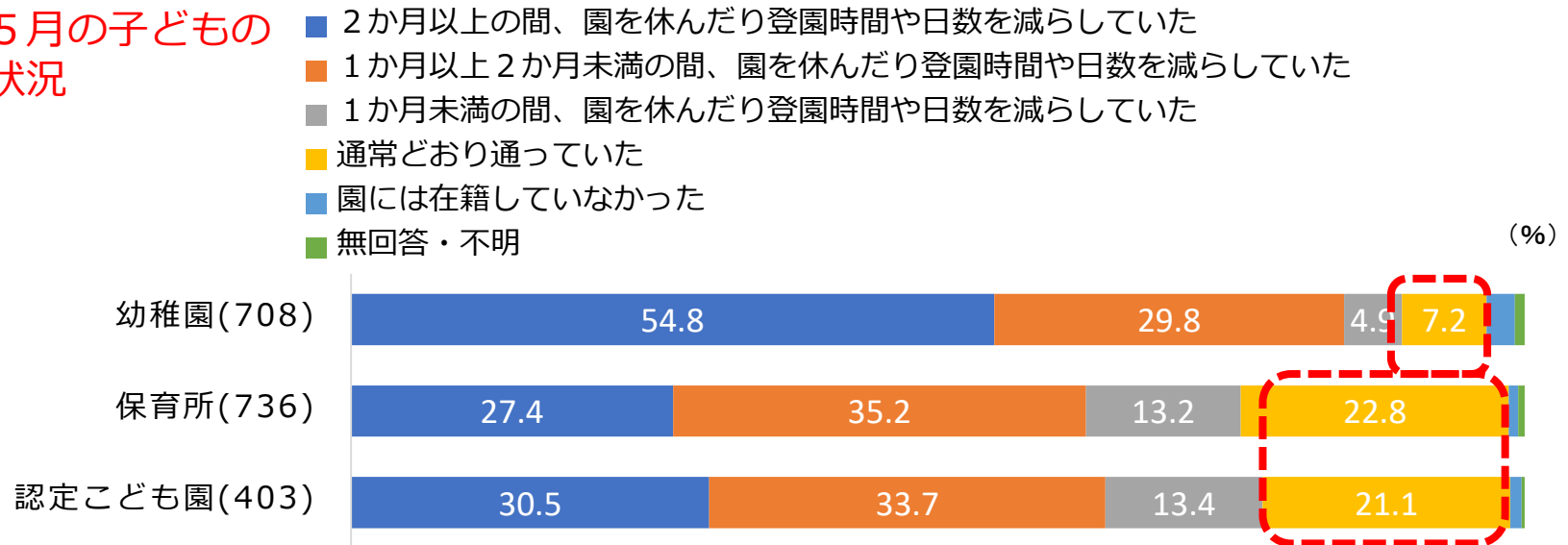


※母親の回答

※2歳児期の幼稚園は、プレ保育・未就園児クラスや満3歳児クラス

4～5月頃、通常通り園に通えない中でも、規則正しい生活への配慮がされていた。

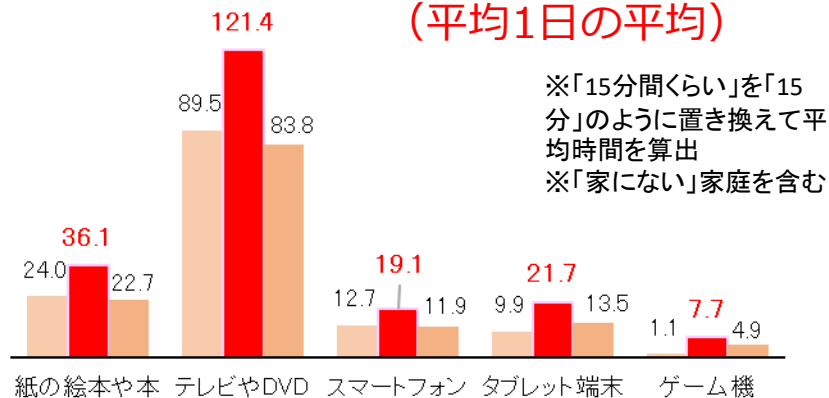
● 4～5月の子どもの登園状況



● 子どものメディア利用時間

(平均1日の平均)

(分)



● 4～5月の子どもの様子

(%)

規則正しく毎日を過ごした	85.4
しっかり運動した	57.4
コロナ流行前より甘える様子が増えた	28.2
コロナ流行前よりいら立っている様子が増えた	20.6
コロナ流行前より泣くことが増えた	14.2

※とても+まああてはまる

4. コロナ禍のトピック_親の働き方

12

父親の在宅勤務の利用経験は、この2年で26ポイント増加して30.9%に。

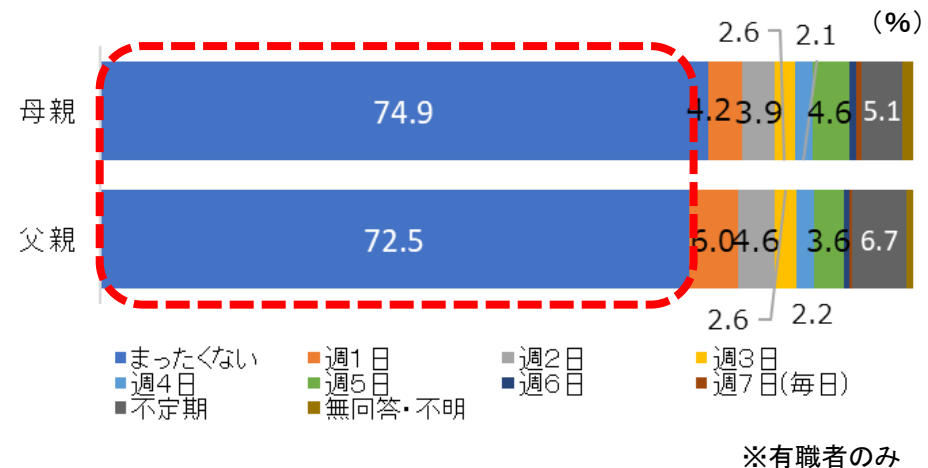
●在宅勤務によるテレワークの制度

(%)

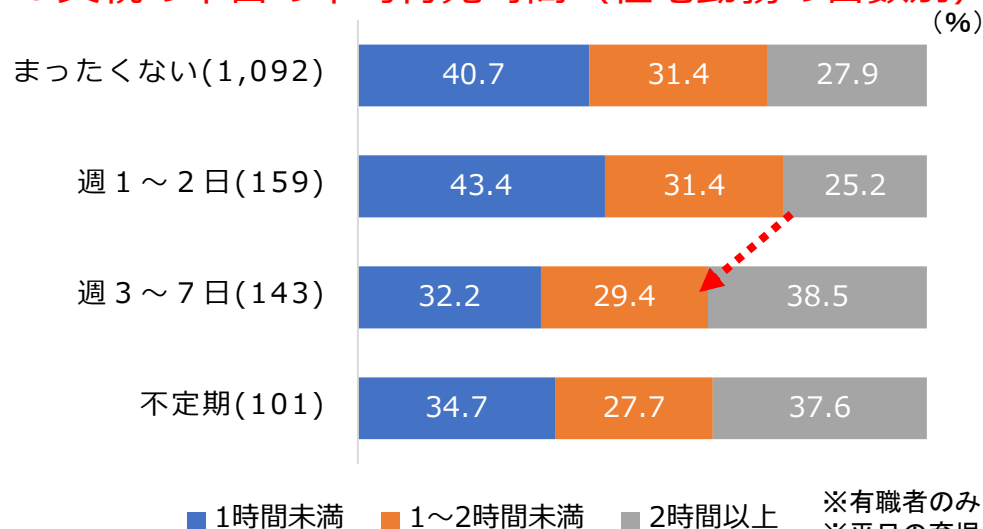
		(制度があるかわからない)	制度はない	制度はあるが、利用したことはない	制度があり、利用したことがある	無答不明
母親	1歳児期	17.5	71.9	4.7	4.9	0.9
	3歳児期	13.5	60.4	6.2	19.5	0.5
父親	1歳児期	14.1	66.1	13.8	4.9	1.1
	3歳児期	8.8	44.1	16.1	30.9	0.1

※有職者のみ

●1週間のうち、在宅勤務する日数



●父親の平日の平均育児時間（在宅勤務の日数別）



4. コロナ禍のトピック_親の職場の様子

13

●職場の様子

※有職者のみ

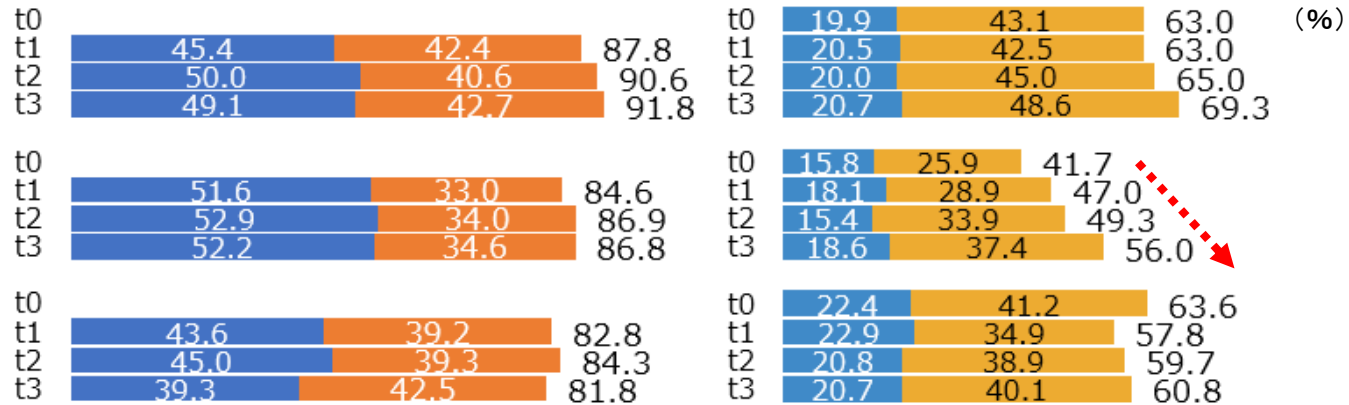
部下が子育てに時間を割くことに、上司は理解がある

定時に帰りやすい雰囲気がある

休みをとったり、早退しやすい

母親

父親



(%)

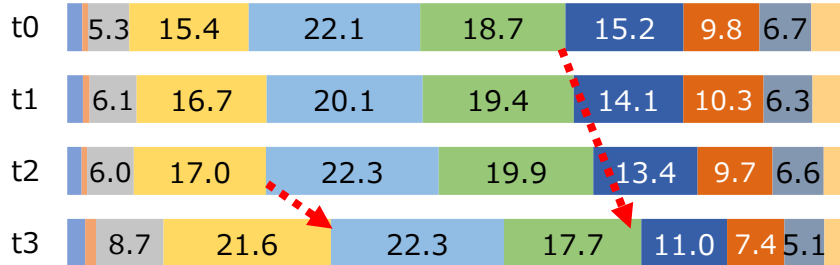
■とてもあてはまる
■まああてはまる

※グラフ横の数値は、とても+まああてはまる



(%)

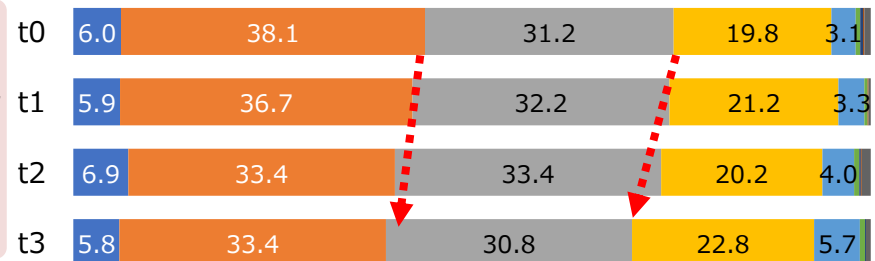
父親の平日の
帰宅時刻



■ 15時より前 ■ 15~16時台 ■ 17時台 ■ 18時台 ■ 19時台
■ 20時台 ■ 21時台 ■ 22時台 ■ 23時以降 ■ 無答不明

※有職者のみ ※自営業・在宅ワークの方は、仕事が終わる時間

父親の平日の
平均育児時間



■ 0分 ■ 1時間未満 ■ 1~2時間未満 ■ 2~4時間未満 ■ 4~6時間未満 ■ 6~10時間未満 ■ 10~15時間未満 ■ 15時間以上 ■ 無答不明

